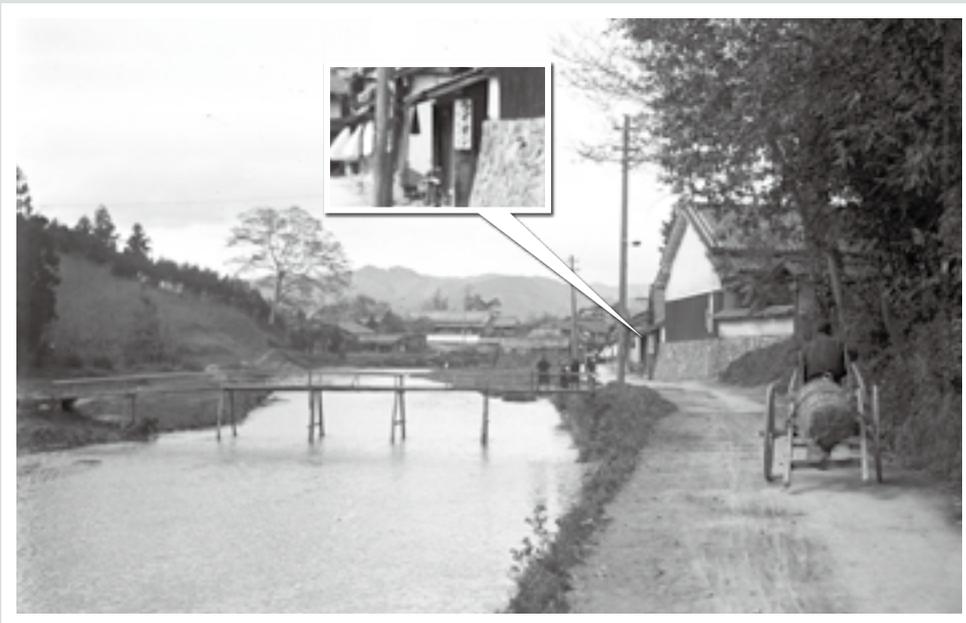


大正11〜15年頃の

宮川東岸

写真提供・塩山 剛さん（西今町）



現在の宮川東岸

津山城下を流れる宮川の東岸から千代稻荷神社前に架かる橋を見たところ。拡大すると、橋の東詰めの家に「ライオンはみがき」の看板が掛かっているのが分かります。小林富次郎商店（現在のライオン株式会社）がライオン練歯磨を大量生産し、売り出したのは大正11年（1922）のこと。また、稻荷橋は大正15年（1926）に朱塗りの橋に架け替えられているため、この写真は、大正11年から15年の間に撮られたものと思われます。当時はまだ「津山町」の時代で、中国鉄道津山〜津山口間が開通し、津山駅が開業した頃（大正12年）です。

川沿いの土手道には、俵をくくりつけた大八車を引く男性がいます。土手道はまだ舗装されておらず、対岸には川沿いに当時の里道らしきものも見えます。橋の上には4人の少年たち。彼らは何を見つめているのでしょうか。『苦田郡誌』によると、江戸時代この付近は禁漁区となっていたためたくさん魚がいましたが、維新後の乱獲と上流にあった工場の悪水のため、昭和2年頃には魚影がほとんど見えなくなっていたそうです。もしかすると、珍しく魚を見つけ、はしゃいでいるのかもしれませんがね。

このコーナーは歴史的
文化資産のデジタルアーカイブ（古写真のデジタル化）事業の成果の中から紹介しています

問い合わせ先
津山郷土博物館
☎22-4567

表紙について

給食風景

5月7日、広戸小学校1年生

入学して1カ月、給食風景の撮影に行きました。

あどけない笑顔に元気がいっぱい。今日の献立は、わかめうどん。給食に携わっているすべての人に感謝して「いただきます」をパチリ。

つ・ぶ・や・き

編集室



遠い昔、「学校での楽しみな時間」ベスト3は①休み時間②給食③体育だったな…。近頃の学校給食の献立を見ると、家ではなかなか作ってやれない料理もあり、親としてとってもありがたい。学校給食に携わってくださっている皆さん、ありがとうございます！（和）

5月に異動して、初仕事で表紙を担当。オイ、オイ、オイ…ホントかよ！特集に合わせて早速、息子の母校に撮影依頼。快くご協力いただいた小学校と保護者の皆さん、そしてかわいい元気な後輩たち、ありがとうございます。オールドルーキーがんばります。（修）

「津山少年柔道教室」は熱気ムンムン。汗を滴らせながら、真剣なまなざしで取り組む子どもたちの姿はすてきでした。一生懸命に、そして継続して取り組むと、夢がかなう可能性は広がるでしょうね。子どもが大きくなったら、柔道させてみようかな。（&）

